

国際学会発表

Second World Presbyopia Conference (ジュネーブ, スイス) 2010/8/7



インターネットTVインタビュー



老眼学会招待講演



学会発表者



アワード受賞

Presbyopia 国際学会は、老眼に対する新しい試みを行っているスペシャリストが世界中から招かれ、その様子がインターネットTVを介して世界同時配信される会議。日本人としては唯一当院院長が老眼治療の専門家としてで老眼専門学会「Presbyopia2010」から招待を受け、老眼における「オサート/オルソ-K」とクロスリンクに関する発表を行った。欧米では軽度な近視にしか行われていないオルソ-Kなので非常に高い関心を持って評価され、更にクロスリンクを併用した斬新な試みは、会場に招かれた世界的権威からも好評を博しました。

International Congress of Corneal Cross-Linking(ミラノ, イタリア) 2011/1/22



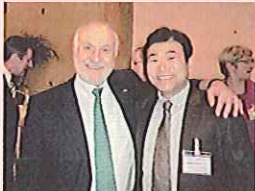
学会発表



ポスター発表

現在欧米で最先端治療として注目されているCXL(クロスリンクに対する唯一の国際学会)。世界初、オサート/オルソ-KとCXL(クロスリンク)を組み合わせた最新治療の発表を行った。また、CXLをさらに応用させた治療の発表を行い、発表後も多くの質問がありました。

クロスリンク第一人者(共同研究者)と院長



Prof. Dr. Theo Seiler



Dr. Jerome Bovet



Dr. John Kanellopoulos



Prof. Dr. John Marshall

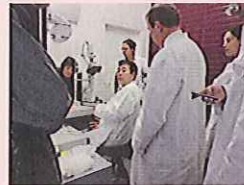


Dr. Osama Ibrahim

ジュネーブ(スイス)分院での診療



検査データ確認



ジュネーブ分院での診療

ジュネーブ(スイス)での海外診療を開始しました。かねてより現地の病院長から、オサート/オルソ-Kに対する強い診療依頼を受けておりましたが、この度、準備が整いジュネーブ(スイス)での診療を開始いたしました。ジュネーブの病院の一部門として当院のオサート/オルソ-Kの診療が行われています。



スタッフへの講義・指導



ジュネーブ分院スタッフ